

女神さま・オープン(3ヵ月決算型)の運用状況

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式 2018年10月31日

当レポートでは、米国株式市場の足元の動向と長期金利上昇の影響、及び今後の企業業績の見通しと当ファンドの運用方針についてお伝えいたします。

貿易摩擦の業績への影響を懸念し下落

10月の米国株式市場は、大幅下落となりました。2018年第3四半期の企業業績は、概ね底堅い内容であるものの、一部の企業が関税引き上げや、米ドル高を理由に慎重な見通しを示したことで、先行きへの懸念が高まりました。原材料価格の影響が大きい素材株や、原油価格の下落によりエネルギー株の下げが大きくなりました。一方、公益事業や生活必需品株は、上昇しました。

企業業績は引き続き堅調

図表2は、S&P500種指数の2018年第3四半期の予想1株当たり利益(EPS)成長率の推移です。発表が進むとともに徐々に上方修正されています。これは、前2四半期と同様の傾向であり、一部企業に米ドル高や貿易摩擦の影響が出ているものの、基本的には好調な内容が継続していると考えられます。

米国企業の負債比率は金融危機時より低下

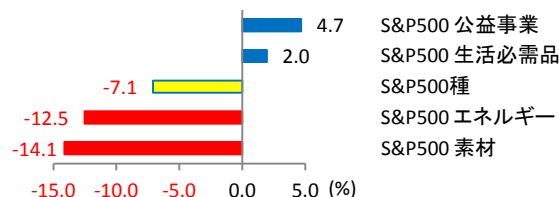
長期金利の上昇も株価のマイナス要因となりました。国債との比較において、株式の相対的魅力度が低下するためです。また、負債比率の高い企業にとっては、金利負担の増加が重石となります。しかし、後者のリスクは、以前に比べて低くなっていると考えられます。

図表3は、S&P500種指数の負債比率の推移を示したものです。2000年代後半の金融危機後、米国企業は、財務の健全化を進めたため、負債比率は当時と比較して大きく低下しています。

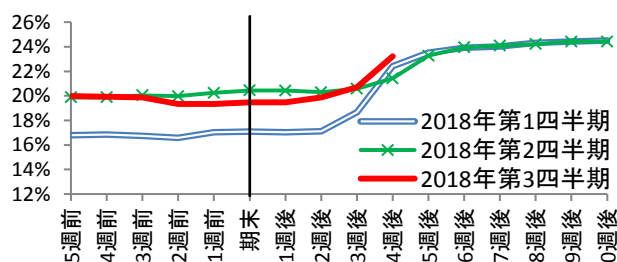
中間選挙は上院は共和党、下院は民主党が優勢

2018年11月6日(現地時間)に、米国の中間選挙が行われます。現在は、上下院ともに共和党が過半数の議席を有しています。現在の情勢は、上院は共和党優勢で、下院は民主党が優勢です。中間選挙後に議会が「ねじれ」の状態になると、トランプ政権にとっては、議会との交渉がより難しくなる可能性があります。

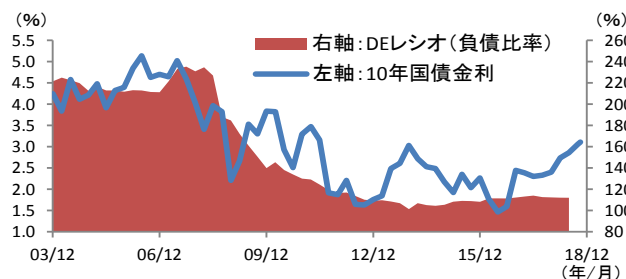
図表1 S&P500種指数の業種別リターン上位下位2業種 (2018年9月25日～2018年10月25日、米ドルベース、トータルリターン)



図表2 S&P500種指数四半期別EPS成長率の推移 (2018年第1四半期～2018年第3四半期、週次、米ドルベース)



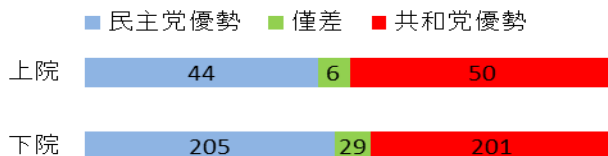
図表3 S&P500種指数の負債比率と米10年国債金利の推移



(注) 負債比率は、短期・長期債務／純資産×100で計算
負債比率データは、2003年12月31日～2018年6月30日
長期金利データは、2003年12月31日～2018年10月25日

(出所) 図表1, 2, 3は Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

図表4 2018年米国中間選挙の情勢



(注) 2018年10月28日現在

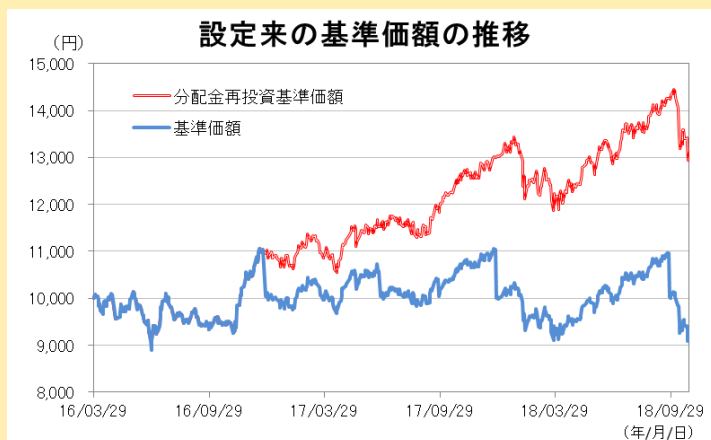
(出所) RealClearPoliticsより岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

運用状況 (作成基準日 2018年10月26日)



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ	
基準価額(円)	9,202
残存元本(口)	2,308,049,387
純資産(円)	2,123,863,943
実質株式組入比率(%)	86.4
短期金融商品その他(%)	13.6
組入銘柄数	65

決算期	分配金(円)
第10期(2018年9月26日)	950
第9期(2018年6月26日)	0
第8期(2018年3月26日)	0
第7期(2017年12月26日)	1,050
第6期(2017年9月26日)	250

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
 ※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位10セクター		
セクター名	比率	
1 ヘルスケア機器・サービス	12.0%	
2 資本財	9.8%	
3 小売	8.9%	
4 ソフトウェア・サービス	7.8%	
5 公益事業	6.1%	
6 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.6%	
7 家庭用品・パーソナル用品	4.3%	
8 食品・飲料・タバコ	4.1%	
9 各種金融	4.1%	
10 銀行	3.5%	

組入上位10銘柄			
銘柄名	セクター	比率	
1 アップル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.6%	
2 アマゾン・ドット・コム	小売	2.7%	
3 アボットラボラトリーズ	ヘルスケア機器・サービス	2.6%	
4 アルファベット	メディア・娯楽	2.5%	
5 USバンコープ	銀行	2.2%	
6 マコーミック	食品・飲料・タバコ	2.1%	
7 TJX	小売	2.1%	
8 アトモス・エナジー	公益事業	2.1%	
9 WECエナジー・グループ	公益事業	2.0%	
10 ハリス	資本財	1.9%	

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

足元の運用経過と運用方針について

足元の運用につきましては、米中間の関税引き上げによる影響を懸念し、資本財株を一部売却しました。一方、貿易摩擦の影響が相対的に小さい公益株を買い付けました。また、食品・飲料株を売却し、家庭用品株を買い付けました。

今後の米国株式市場は、米中貿易摩擦や中間選挙に対する不透明感などから、短期的には弱含みの展開が予想されます。その後、好調な年末商戦への期待などから株価は反発すると考えられます。

当面の運用につきましては、好調な米国経済の恩恵を受ける小売株や、独自の成長ストーリーを有するヘルスケア機器株及びソフトウェア・サービス株を高位にウェイト付けします。また、株価の下落で割安感が高まった資本財株の買付けを検討します。

以上

(作成:運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
 - ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
 - 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.566%（税抜1.45%）
 - その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※東武証券株式会社は、2018年11月1日から取扱い開始です。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)